

## 十和田八幡平国立公園

報告者：環境省十和田八幡平国立公園管理事務所 所長 森川久

乳頭温泉組合会長 佐藤和志

最初に十和田八幡平国立公園の概要を映像で見てもらえればと思う。十和田八幡平国立公園は十和田湖に代表されるような湖水、八甲田山系、岩手山、八幡平等の山岳、乳頭温泉に代表される奥山の湯治場が特徴の国立公園である。

目標としては 2015 年の 7,000 人の訪日外国人を 2020 年までに 3 倍の 2 万 1,000 人にしようということで現在取り組みを進めている。

山岳を縦走するような登山や日帰りを楽しめる登山など、歩いて楽しむ四季の移ろいがあり、活発な火山活動を背景とした温泉にも十和田八幡平地域は恵まれているので、長期滞在で温泉、湯治文化を満喫していただくことを狙いとしている。十和田湖畔の休屋に代表される国立公園の一等地で、上質な滞在空間への再生ということで休廃業している廃屋の対策を進めている。十和田八幡平地域で拠点となるようなビューポイントを設けて、それぞれの地域で標識の多言語化、公園利用者のためのトイレ等の再整備を進めている。

十和田八幡平国立公園の特長として奥入瀬溪流での自然散策、十和田湖でのカヌー、八甲田八幡平でのバックカントリー、乳頭温泉に代表されるような湯治文化がある。アウトドアアクティビティの拠点と滞在、癒やしの拠点が直結し、同じ場所にあるというのが特長で、そういったところを体験してもらえるような取り組みを進めている。

ここからは乳頭温泉での取り組みとなるが、真ん中にポコッとした山が乳頭山になる。乳頭山の麓に 7 軒の温泉があり、全部地底のお湯で、10 種類以上、各自全然違う泉質のお湯がわいている。乳頭温泉は秋田県の丹沢湖の山奥で、山を越すと岩手県になる。左上にあるのが私が営業している鶴の湯温泉になるが、乳頭温泉では最も古くからある。他には休暇村、黒湯、妙乃湯など。妙乃湯はおもてなしということで女将が頑張っているので人気のある場所だ。大釜温泉は古い木造校舎を使っている。蟹場温泉は沢沿いにサワガニがたくさんいる。孫六温泉だけが車で行けない。周辺の森は、戦後発生したブナ林で秋の紅葉と春の新緑はすごく人気がある。1 時間から 2 時間ほどで回れる散策歩道があり、所々に小さい遊歩道も作っているので 1 時間から半日ゆっくり楽しめる散策コースになっている。乳頭温泉めぐりチケットを 1,500 円で売っているが、これを買えば温泉地内を周遊するバスに無料で乗れる。バス運行の経費はどこから出るかというと、湯めぐりチケットの売上が年間約 800 万前後になる。5 年くらい前に韓国のドラマ（アイリス）のロケがあり、韓国から一気にお客さんがどっと来た経緯がある。山間の温泉地なので山のものを出すよう女将さん達が頑張っている。海外向けに HP も作成している。韓国の画家たちがブナ林の中に絵画を展示したり、食べ物の提供を行ったこともある。タイの電車で紅葉の黒湯温泉がラッピングされたことで昨年タ

イのお客さんが大挙して訪れた。古い湯治場の姿をそのまま残しているので、海外から来る人はこういう佇まいに魅力を感じるのかなと思う。山の上までブナ林なのでブナ林の中にある乳頭温泉郷ということで泉質と湯治場の古さを売りにしている。